

学校支援の充実

地域とともにすすめる学校支援

瀬戸市立掛川小学校 P T A

1 はじめに

掛川小学校は、瀬戸市の北部に位置し、県有林などの森で周辺を囲まれている。恵まれた自然環境のもと、定光寺と下半田川両町のランドマークのような存在として創立 151 年目を迎えた。令和 2 年度より小規模特認校制度が始まり、居住区域にかかわらず市内全域から入学が選択できる学校となった。さらに、令和 6 年度からは入学時だけでなく、どの学年からでも転入が可能になっている。



【瀬戸市立掛川小学校 全景】

令和 7 年度現在全校児童 17 名のうち、学区在住の児童 3 名と校区外 14 名が在籍している。本校では、学校教育目標「ともに学び合う 心豊かな たくましい子の育成」のもと「すぐれた学びのできる人 やさしくつよい心をもつ人 健やかなからだを育む人」を目指す子ども像として、教育活動を行っている。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

小規模校であるため世帯数も少なく、保護者だけの P T A 活動が困難となってきた。合わせて、保護者の共働き世帯の増加や掛川地域の少子高齢化も背景にあり、地域と連携した P T A 活動はたくさんの課題を抱えている。地域とのふれあいを大切にしながら、持続可能な学校支援を行うことを目指し、実践に取り組んだ。

(2) 掛川小学校を支援する組織・体制づくり

P T A 組織を見直し、地域にある組織や関係機関との連携を図ることで、子どもたちを育てていく持続可能な体制を整える。

3 実践活動の概要

(1) 掛川小学校 P T A 組織・活動の見直し

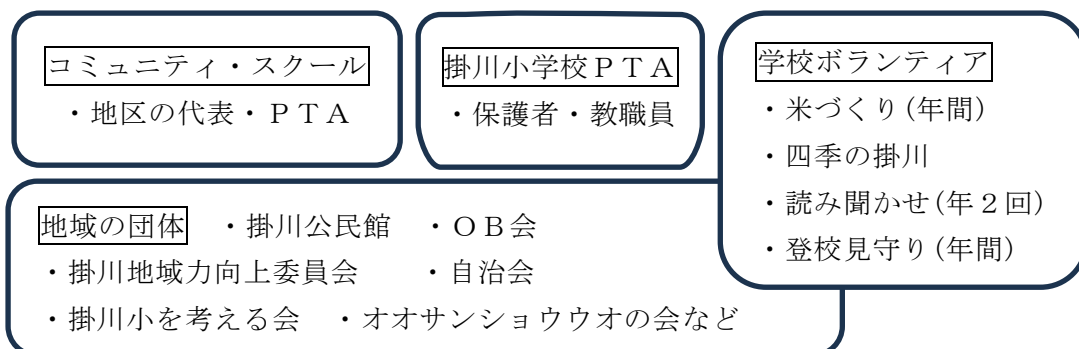
① 組織のスリム化

「できる時に、できる人が、できる範囲で」を念頭に置き、組織のスリム化を目指し、最低限必要な役職のみとした。

以前	→令和 6 年
会長	→代表
母親代表	→家委
会計	→教頭
書記	→その都度
会計監査	→その都度

② 地域の組織とのかかわり

本校のPTAと地域とのかかわりは下の図の通りである。



③ 活動の見直し

ア メール配信アプリを活用し、PTA会員への連絡や文書配付等を行うことで対面での会合を3回から1回に削減した。

イ PTA新聞のレイアウトをA3サイズからA4サイズに変更した。

ウ 年間2回PTAで行っていた廃品回収を4回に分散し、業者に回収を委託した。

(2) 地域と連携したボランティア活動

① 米づくりボランティア

地域の方に協力をお願いし、もち米作りに取り組んでいる。田おこし、代かき、田植え、草取り、稲刈り、脱穀、粃すりは、保護者も参加し、活動の手助けをしている。



【稲刈り】

② 四季の掛川ボランティア

春は、地域ボランティアの方々に学校周辺の山菜の収穫を手伝っていただき、天ぷらにして振る舞っていただいた。今年は、同日にPTA会員連絡会を設定したことで多くの保護者も参加することができた。



【春の山菜採り】

夏は、学校の近くを流れる蛇が洞川に行き、川に住む生き物について学習する。市役所の文化課や地域の管理者にご協力いただき、天然記念物オオサンショウウオの観察をすることができた。



【夏の川遊び】

秋は、地域の自然学習講師の指導のもと、学校の裏山に5種類の遊具を作って遊んだ。保護者もボランティアとして参加し、子どもたちと一緒に楽しい時間を共有することができた。

冬は、学習田で収穫したもち米を使って、親子でもちつきを行う。お世話になったボランティアの方々には、子どもたちがつくたてのお餅をお渡しし、感謝の気持ちを伝えている。

③ 登下校見守りボランティア

校区在住の児童が3名しかいない本校にも、通学班はある。校区外から通う児童や保護者の要望もあり、希望があれば通学班の集合場所から登校できるようにしているので現在徒歩通学者は5名。少人数の通学班ではあるが地域の登下校見守りボランティア約10名の方が日替わりで子どもたちと一緒に歩いてくださっており、大変心強い。

④ 読み聞かせボランティア

年間2回の設定をしている読書週間に合わせて、読書ボランティア「らんぷの会」による読み聞かせを行っている。学級や児童の実態を知っていただき、より充実した活動にしていきたい。

(3) 地域と連携した行事

① 学校公開日「森の工作教室」

毎年6月の第1土曜日に開催する「森の工作教室」は、小規模特認校制度対象の学校として、未就学児(年長・年中)の保護者などに本校を知っていただく機会にもなっている。

P T Aとしては、学校紹介のリーフレットを作成したり、開催案内のチラシを市内の各幼・保育園に配布して参加者を募ったりすることで、この活動をバックアップしている。

地域の方々だけでなく卒業生の保護者も当日は工作サポートボランティアとして参加していただく。学校と地域の総掛けりの行事となっている。

② 環境整備(草刈り)

7月～9月までにP T Aによる環境整備作業を3回計画した。

7月は、「できるときに」「できる人が」「できる範囲で」参加できるよう1週間の「草抜きウィーク」を設定した。活動時間は、児童の登校後、8時30分から8時50分の20分間とした。日時に幅をもたせることで多くの保護者の協力を得ることができた。



【冬のもちつき(親子)】



【登下校見守りボランティア】



【学校公開日「森の工作教室」】

8月のPTA親子環境整備作業は、地域の方にもご協力もいただき毎年実施している。今年は在籍児童17名の学校にもかかわらず、地域の方々の草刈り機が50台近くも集まり、総勢100名程で作業を行った。



【PTA親子環境整備】

9月は、掛川スポーツフェスタのための環境整備を行う予定だったが、今年は雨天のため中止となった。

③ 掛川スポーツフェスタ(地域共催の運動会)

ア スポーツフェスタ企画会議

8月末(スポーツフェスタ約1ヵ月前)に地域の公民館・地域力向上委員会・自治会・小学校の代表者で催した。小学生の実施種目と地域住民による実施種目の内容や担当者の確認を行った。この会議は、学校とPTA、地域の情報交換の場にもなっている。

イ 全校踊り

夏休みの出校日に、全校踊りの練習を地域のボランティアの方々と一緒に行った。「瀬戸音頭」と「ビューティフルサンデー」の2曲は、地域の盆踊りでも同じように踊られている。

ウ スポーツフェスタ当日

地域の方々には、一緒に競技を盛り上げていただくだけでなく、早朝からテントを立てたり、万国旗を場内に張り巡らしたりするなど学校単独では、手が回らない準備や後片付けなど支援していただいている。



【スポーツフェスタ記念写真】

4 おわりに

本校の特色の一つは、小規模校ならではの「一人ひとりに寄り添った教育」が実現できる点にある。こうした魅力を、PTAの立場からも積極的に発信し、より多くの方々に本校の価値を知っていただけるよう、今後も広報活動を強化していく。私たちが目指すのは、「掛川小学校に通ってよかった」「地域とのかかわりで成長できた」「この地域に住んでよかった」と感じられる、幸福度・満足度の高い学校・地域の実現である。本校はこれまでも地域と連携した多様な取り組みを行ってきた。これらの活動を無理なく持続可能な形で運営できるよう、今年度より導入されたコミュニティ・スクール制度のもと、より効率的な仕組みづくりに着手し、地域のあたたかい雰囲気の中で子どもたちの成長を見守り、未来へつなげていきたいと考えている。



【150周年記念の会】